

平成 30 年 11 月 22 日

平成 30 年度 施設見学会を開催

(一社)日本物流団体連合会(田村修二会長)は、平成30年11月14日(水)、成田国際空港(株)(夏目誠代表取締役社長)および(株)ANA Cargo(外山俊明代表取締役社長)の協力を得て、平成30年度施設見学会を成田国際空港で開催し、会員企業・団体等から33名が参加した。

産業のグローバル化に伴い、物流における国際空港の役割が大きくなっている中、成田国際空港は貿易額が全国の港・空港の中で1位を誇っているほか、国内の空港における国際航空貨物の取扱量が約6割を占めており、アジアのゲートウェイ及びハブとして脚光を浴びている。

冒頭、物流連 与田理事長より挨拶があり、続いて成田国際空港(株)貨物営業部マネージャーより、成田国際空港の概要、国内主要空港の国際航空貨物取扱量、輸出入の品目等についての説明があった。

続いて5班に分かれて(株)ANA Cargoの上屋を見学した。見学では、(株)ANA Cargo担当者より、受託からULD(Unit Load Devices)への積み付け、計量、搭載といった輸出業務の一連の流れについて、解説を交えて実作業を間近に見学した。

上屋の見学を行った後、バスにて成田国際空港(株)によるガイドのもと、貨物地区や駐機場等空港内各施設を巡回して視察するとともに、A滑走路脇では航空機の離発着を見学、最後にランプ・コントロールタワー(旧管制塔)の視察を行い、本見学会は終了した。

参加した会員からは、普段なかなか見ることのできない成田国際空港の貨物施設を見学し、有意義な時間を過ごすことができたとの声が数多く寄せられた。



成田国際空港貨物地区全景（提供：成田国際空港（株））



説明会の様子